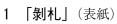
福井県文書館資料叢書9

福井藩士履歴 1 あ~え







松平文庫 福井県立図書館保管











2 「士族」(表紙)

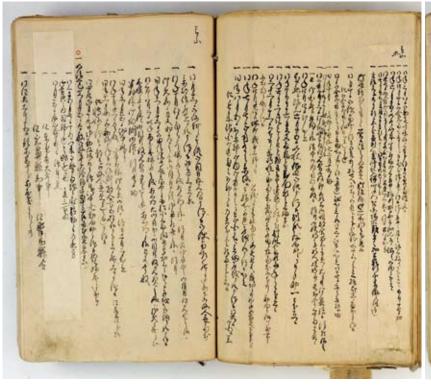
松平文庫 福井県立図書館保管





3 「剝札」稲葉 1

松平文庫 福井県立図書館保管





4 「士族」青山貞

松平文庫 福井県立図書館保管

てきました。 幕末の政治動向に大きな影響を与えた松平慶永に関わる五三冊分(第四巻から第八巻)を刊行し 代後期の若狭国小浜の米商人の日記(第三巻)、さらに越前松平家の「家譜」のうち、とりわけ これまで資料叢書では、江戸時代中期の越前国幕府領の大庄屋日記 このたび福井県文書館資料叢書の第九巻として『福井藩士履歴』を刊行することとなりました。 (第一巻・第二巻)、江戸時

たる刊行を予定しています。 **人事記録を取りあげました。利用の便宜から、掲載家を五十音順に組み替え編集し、全六巻にわ** そして今回は、越前松平家の家臣団約三○○○家のうち中・上層の約九○○家(士分以上)の

隠居すると「剝札」に貼り替えていくという文書管理が行われていたことが推測されます。 から福井藩では、現役当主時代に短冊紙片を使って履歴を書き足すかたちで記録した人事記録を、 継いだ足羽県が廃止される一八七三年(明治六)ごろまで書き継がれていました。これらの資料 よって代替わりした各家の当主で、これに対して「士族」には、現役当主の履歴が福井藩を引き 「士族」と名付けられた資料です。 「剝札」 に掲載されている藩士は、 いずれも死去や隠居などに 中核となるのは、越前松平家の藩政資料である松平文庫(福井県立図書館保管)に残る「剝札」

にわたって充実したものとなっています。 格の変化のみならず、職務内容や転役、江戸や京都・藩外への出張とその職務、改名、褒賞など その内容は、とりわけ一八五一年(嘉永四)以降において詳しくなり、各家の禄高の増減、家

思われます。また、関連の職務や同時期に行われた人事を検索することができれば、幕末福井藩 ちろんですが、明治維新後に近代日本を支えた福井藩の人材創出の詳細を解明する上でも有用と こうした藩士履歴は、 一般の利用者からもっとも問い合わせの多いルーツ調べに役立つのはも

の藩政・兵制などの諸改革、殖産政策や人材登用の変容、他藩との交流などが浮かび上がってく

るでしょう。

源をさらに豊かにし、県内外から活用されることで広く福井県にかかわる研究その他の文化活動 これらの資料叢書と当館ウェブサイトに掲載するそのデジタル版が、福井県の歴史的な情報資

平成二十五年二月

が活発になることを願っています。

福井県文書館長 柿 木 孝 勇

、本巻は、福井県文書館資料叢書の第九冊目であり、『福井藩士履歴』全六巻中の第一冊

目である。

、本書の原本は、福井県立図書館に保管されている「松平文庫」のなかの「剝札」「士 族」である。「剝札」は上・下、「士族」は一~七で構成されている(三は欠)。この

うち本巻では、あ~えまでを翻刻した。

、資料の利用に資するため、巻末に参考資料を付した。

一、編集にあたっては次のように取り扱った。

(1)「剝札」と「士族」を連結して『福井藩士履歴』とし、翻刻、刊行することにした。そ

の際、各家は「剝札」の記載順とし、利用の便を考慮して五十音順に組み替えた。さら

に同姓が複数ある場合は、家名にアラビア数字を付した。

(2)原本の藩士名には貼紙・訂正・朱書などがあるが、次のように取り扱った。

・見出しの藩士名は現役最後の名前を示した。

・攻呂は審七呂こ寸されているもののみを、原則に

・改名は藩士名に付されているもののみを、原則として古い順に並べて見出しの藩士名

の下に記した。

・続柄など名前以外の記載については名前の下に記した。

・藩士名の次に石高・扶持米を記した。

③出典が「剝札」以外のものは、藩士名の下に〔士族〕と付した。

(4) 「剝札」の巻末および「あ」「い」の終わりなどに貼られていた家は、該当する場所に

入れて、※で原本の場所を示した。

(5)「士族」のみに出てくる藩士は、該当する五十音の最後に配列した。

(6)柱は、原則としてそのページの最初の段落における家名を示した。

、翻刻にあたっては、原本の体裁にそうよう努めたが、読みやすくするために、また検索

0	
の便宜を図るため	F
	Ľ
厓	ĺ
な	٠,
15	,
12	
6	)
T.	,
X	5
Œ.	
19	7
a	7
v.	_
Ą	•
沙のように取り対	)
l.	-
H	
빈	X
V	)
#	ľ
1/	^
,	-
1	-
	C

①使用字体は原則として常用漢字を用い、異体字は原則として正字に改めた。また変体仮 名や合字は通常の仮名に改めたが、次に掲げるような仮名・俗字・慣用字句は残した。

体 斗(ばかり) お (より) 而已(のみ) 而 (て)

江 (え) 者 (は) 与(と) 茂 (も)

(2)全文にわたって読点をつけ、あわせて文意が通じないものには (マ、)、文字が重複す る場合は(衍)などの傍注を付した。また明らかな誤字・脱字は訂正したものもある。

(3)欠損・虫損等によって文字が判読できない場合には、□や□□で示した。

、本書には、現在からみると基本的人権に関わる歴史的事象も含まれているが、地域の歴 史的事実を正しく理解するために原文をそのまま翻刻することを原則とした。本書は人 権尊重をめざし、史実にもとづく研究を進める立場から刊行するもので、この趣旨を理

解し、利用していただきたい。

翻刻にあたっては田原健子氏(福井県文書館運営懇話会委員)が筆耕し、校合は吉田健 うけ、当館職員が行った。 氏(元福井県文書館文書専門員)と当館職員が行った。編集は吉田健氏のアドバイスを

資料の所蔵者である松平宗紀氏、筆耕に多大なご協力をいただいた田原健子氏に深く感

謝申しあげる。

		四	三	$\equiv$		
参考資料	解説	福井藩士履歴	福井藩士履歴	福井藩士履歴	福井藩士履歴	凡 発刊にあたって <b>次</b>
		え	う	61	あ	7
	元福井県文書館文書専門員					福井県文書館長
	吉			105		
	田	269	243	105	1	木
						孝
	健					勇

32	天方孫八	25	雨森作助	19	明石弘	有賀3		有賀1
31	天方金五右衛門…	25	雨森新助	18	明石将監	有賀清門 12	; ; ;	芦田碩…
31	天方外記	24	雨森藤四郎	18	明石縫殿	有賀清右衛門 11	6	芦田十郎
31	天方数馬	24	雨森作助	18	明石縫殿	有賀惣左衛門 11	左衛門… 6	芦田八郎左衛門…
31	天方金五右衛門…	24	雨森新七	18	明石縫殿	有賀六良右衛門… 10	衛門 6	芦田十左衛門
31	天方五郎左衛門…		雨森 2	17	明石縫殿	有賀清右衛門 10	衛門 5	芦田勘右衛門
	天方	24	雨森信成	17	明石縫殿	有賀彦八郎 10	八郎左衛門… 5	芦田八郎·
31	雨森剛	23	雨森胖	17	明石縫殿	有賀清右衛門 10		芦 田 2
29	雨森雄介	23	雨森右膳	17	明石縫殿	有賀2	4	芦田信成:
29	雨森儀右衛門	22	雨森伝左衛門		明石1	有賀尚之助 10	3	芦田俊斎
28	雨森儀右衛門	22	雨森伝左衛門	16	有賀琢二	有賀進 9	2	芦田図書:
28	雨森甚四郎	21	雨森伝左衛門	15	有賀道順	有賀左平 9	: : : 2	芦田大学:
27	雨森太郎兵衛	21	雨森伝左衛門	15	有賀左右順	有賀内記 9	: : : 2	芦田大学·
27	雨森儀右衛門	21	雨森伝左衛門	15	有賀立長	有賀極人 8	: : : 2	芦田図書·
	雨森4	21	雨森三右衛門	15	有賀道順	有賀小右衛門 8	: : : 2	芦田下野:
27	雨森彦三		雨森 1	15	有賀玄哲	有賀極人 8	: : : 2	芦田大学·
26	雨森彦左衛門	20	明石央		有賀4	有賀隼人 8	2	芦田図書:
26	雨森彦左衛門	20	明石甚左衛門	14	有賀信	有賀小右衛門 8	2	芦田下野:
26	雨森彦左衛門	20	明石甚左衛門	14	有賀忠兵衛	有賀庄助8		芦 田 1
26	雨森弥兵衛	20	明石甚左衛門	13	有賀忠兵衛	有賀孫左衛門 8		あ
26	雨森藤右衛門	19	明石甚左衛門	13	有賀市右衛門			
	雨森3	19	明石藤太夫	13	有賀一郎右衛門…			
26	雨森捨五郎	19	明石藤太夫	13	有賀軍蔵		目次	細
25	雨森東四郎		明石2	13	有賀一郎右衛門…			

荒 川 1	秋田一学	秋田左太夫	秋田又兵衛	秋田又左衛門:	秋田3	秋田三吾	秋田三五左衛門…	秋田三五左衛門:	秋田八兵衛	秋田八左衛門	秋田三五左衛門…	秋田三五左衛門…	秋 田 2	秋田長之丞	秋田豊	秋田長之丞	秋田八郎兵衛	秋田勘解由	秋田八郎兵衛:	秋田八郎兵衛:	秋田1	天方道	天方五郎左衛門…
	: 44	: 43	: 43	÷ 43		41	: 41	: 41	÷ 40	÷ 40	÷ 40	÷ 40		: 39	: 36	: 36	: 36	: 36	: 36	: 35		: 34	33
荒川平吉······· 51	荒川徳左衛門 50	荒川三郎太夫 50	荒川九郎次 50	荒川三郎太夫 50	荒川徳左衛門 50	荒川 3	荒川源次郎 49	荒川助尾 49	荒川万吉 49	荒川宗兵衛 48	荒川助右衛門 48	荒川助右衛門 48	荒川助右衛門 48	荒川助右衛門 47	荒川 2	荒川多芸津 47	荒川十右衛門 46	荒川十右衛門 46	荒川十右衛門 45	荒川惣右衛門 45	荒川惣右衛門 45	荒川右衛門太 45	荒川十右衛門 45
渥美助左衛門 58	渥美助左衛門 58	渥美助左衛門 58	渥美助左衛門 58	渥美 2	渥美小五郎 57	渥美狭織 56	渥美直記 55	渥美新右衛門 55	渥美太郎左衛門… 55	渥美新右衛門 55	渥美新右衛門 54	渥美新右衛門 54	渥美 1	荒川団治 53	荒川 6	荒川一郎······· 52	荒川 5	荒川彦太夫······ 52	荒川団次郎······· 52	荒川彦太夫······· 52	荒川彦太夫······· 51	荒川安太夫······ 51	荒川 4
浅見徳右衛門 68	浅見忠右衛門 67	浅見忠右衛門 67	浅見徳右衛門 66	浅見1	相沢唯之助 65	相沢八郎兵衛 65	相沢八太夫 64	相沢九郎右衛門… 64	相沢八郎右衛門… 64	相沢九郎右衛門… 64	相沢六郎右衛門… 64	相沢	浅井外巻	浅井常次郎 62	浅井2	浅井政由 61	浅井八百里 61	浅井弁左衛門 61	浅井弁左衛門 60	浅井弁左衛門 60	浅井源左衛門 60	浅井1	渥美無年二 58
味岡甚左衛門 75	味岡彦太夫 75	味岡彦太夫 74	味岡彦八 74	味岡	浅見喜代平 74	浅見他五郎 74	浅見4	浅見丈兵衛 74	浅見平内 73	浅見甚内73	浅見平内72	浅見又七郎 72	浅見仲右衛門 72	浅見3	浅見直72	浅見貞衛 71	浅見七郎右衛門… 70	浅見七十郎 70	浅見城之助 70	浅見七郎右衛門… 69	浅見2	浅見岱輔 68	浅見忠右衛門 68

100	稲葉釆女	10	安見久次郎	95	安陪清兵衛	青山2	跡部門右衛門 82
5 106	稲葉釆女	101	安見権八郎	95	安陪清兵衛	青山貞 89	跡部多助 82
106	稲葉釆女		安藤	95	安陪喜兵衛	青山弥五右衛門… 88	跡部1
106	稲葉釆女	101	浅野雄輔	95	安陪清兵衛	青山半兵衛 88	青木育徳 82
106	稲葉釆女	100	浅野嵩三	95	安陪喜兵衛	青山半兵衛 88	青木雄左衛門 81
106	稲葉釆女	100	浅野恒庵		安陪	青山弥五右衛門… 88	青木一右衛門 81
106	稲葉釆女	100	浅野恭斎	94	厚治金平	青山半蔵 88	青木吉右衛門 80
	稲葉 1	99	浅野嵩山	94	厚治丈助	青山幸八 88	青木3
	()	99	浅野恭斎	93	厚治丈左衛門	青山1	青木作太 80
			浅野	93	厚治惣三郎	有沢権四郎 87	青木与一右衛門… 79
		98	安西関六	93	厚治兵右衛門	有沢勘介 86	青木与一右衛門… 79
103	荒井重久	98	安西梅干之助	93	堀吉太夫	有沢栄左衛門 86	青木新右衛門 79
	荒井	97	安西平八	93	厚治直左衛門	有沢権四郎 86	青木与一右衛門… 79
103	芦崎治左衛門	97	安西吉郎右衛門…		厚治	有沢勘助 86	青木2
	芦崎	97	安西梅干之助	93	青山加治馬	有沢	青木咸一 77
103	天谷純蔵	97	安西源五左衛門…	92	青山与兵衛	跡部敏広 85	青木七郎 77
	天谷 2	97	安西梅干之助	92	青山与兵衛	跡部又八 85	青木喜作 76
102	天谷五兵衛	97	安西梅干之助		青山 3	跡部彦一郎 85	青木七郎右衛門… 76
102	天谷五兵衛		安西	92	青山丈太郎	跡部又八 84	青木金次郎 76
102	天谷五兵衛	97	安部武右衛門	91	青山弁吉	跡部 2	青木藤太夫 76
	天谷1	97	安部武右衛門	91	青山三郎助	跡部喜三太 84	青木1
102	安藤豊平		安部	91	青山丈太郎	跡部源八郎 83	味岡彦八郎 75
101	安藤久蔵	95	安陪喜重郎	91	青山次郎左衛門…	跡部幸八郎 83	味岡甚左衛門 75
101	安藤甚左衛門	95	安陪市郎左衛門…	91	青山次郎右衛門…	跡部主計 82	味岡彦太夫 75

礒野多宮	礒野多宮	儀野1	稲葉悦之助	稲葉多金吾	稲葉源右衛門	稲葉源右衛門	稲葉藤之丞	稲葉新右衛門	稲葉源右衛門	稲葉3	稲葉文雄	稲葉左司馬	稲葉式部	稲葉要人	稲葉織部	稲葉要人	稲葉要人	稲葉要人	稲葉2	稲葉俊之助	稲葉釆女	稲葉務	稲葉愛之助
114	114		113	113	113	112	112	112	112		112	110	109	109	109	109	109	109		108	107	107	107
飯田治左衛門 120	飯田	稲垣重 120	稲垣重教 119	稲垣治部 118	稲垣源太郎 118	稲垣安右衛門 118	稲垣安右衛門 118	稲垣安右衛門 118	稲垣安右衛門 118	稲垣	磯野猛 117	磯野憲之丞 117	礒野仲右衛門 117	礒野三四郎······· 117	礒野仲右衛門 116	礒野源内 116	礒野無二······· 116	礒野2	磯野平三郎 116	磯野近 115	礒野石見 115	礒野多宮 114	礒野多宮 114
市村庸義 129	市村与八郎 128	市村惣右衛門 128	市 村 3	市村省三郎 128	市村貢治 127	市村三右衛門 127	市村三右衛門 127	市村三右衛門 126	市村喜六 126	市村2	市村市十郎 125	市村勘右衛門 124	市村勘右衛門 124	市村勘右衛門 123	市村勘右衛門 123	市村1	飯田力	飯田静馬 122	飯田十太夫 121	飯田作左衛門 121	飯田十太夫 121	飯田作左衛門 121	飯田十太夫 121
井上茂右衛門 137	井 上 4	井上穆 136	井上剛 135	井上弥太夫 135	井上織之丞 135	井上弥太夫 135	井上清兵衛 134	井上八兵衛 134	井上3	井上徹	井上平太郎········ 132	井上孫左衛門 132	井上孫左衛門 132	井上孫左衛門 132	井上2	井上敏雄 132	井上小膳 131	井上半太夫······· 131	井上小膳 130	井上半太夫······· 130	井上半太夫······· 130	井上半太夫········ 130	井上1
岩上五郎八 142	岩上梶太夫 142	岩上楫太夫 142	岩上	井上喜代太 141	井上廉介 141	井上修三 141	井上7	井上喜代志 140	井上市郎太夫 140	井上勘右衛門 140	井上勘右衛門 140	井上6	井上加多志 139	井上銕吉 139	井上定右衛門 139	井上小左衛門 139	井上応助 139	井上小左衛門 139	井上5	井上孫作 138	井上次郎八 138	井上茂右衛門 137	井上茂右衛門 137

今村伝兵衛 149	今村2	今村五平··········· 148	今村小一郎 148	今村五兵衛 147	今村段右衛門······ 147	今村段右衛門······ 147	今村段右衛門······ 147	今村段右衛門······ 147	今村1	飯沼静夫 146	飯沼官平 146	飯沼源左衛門 145	飯沼源左衛門 145	飯沼勘平 145	飯沼三蔵 145	飯沼十郎太夫 145	飯沼官兵衛 145	飯沼官兵衛 144	飯沼	岩上岩三郎 143	岩上五郎治 143	岩上梶太夫 143	岩上梶太夫 142
井原多頼	井原次郎右衛門… 156	井原丞助 155	井原丞助 155	井原丞助 155	井原丞助 155	井原丞助 155	井原丞助 155	井原2	井原立二 153	井原司馬助 152	井原源兵衛 152	井原兵左衛門 152	井原番右衛門 151	井原源助 151	井原源兵衛 151	井原1	今村坦 150	今村重太郎 150	今村伝兵衛 150	今村伝兵衛 149	今村伝九郎 149	今村伝兵衛 149	今村伝兵衛 149
今立次太夫 165	今立三左衛門 165	今立治太夫 165	今 立 2	今立雄平 164	今立五郎太夫 163	今立五郎太夫 163	今立助左衛門 162	今立六右衛門 162	今立権左衛門 162	今立助左衛門 162	今 立 1	出淵肇·············· 161	出淵伝之丞 159	出淵平兵衛 158	出淵彦兵衛 158	出淵平兵衛 158	出淵平兵衛 158	出淵金兵衛 158	出淵平兵衛 158	出淵平兵衛 158	出淵平兵衛 157	出淵平兵衛 157	出淵
岩城源太郎 174	岩城藤左衛門 173	岩城仙太郎 173	岩城	生田準内	生田十左衛門 172	生田十左衛門 172	生田八郎右衛門… 172	生田六左衛門 172	生田	石原健蔵 171	石原2	石原虎雄 170	石原基十郎 168	石原喜左衛門 168	石原九郎左衛門… 167	石原鉄弥 167	石原治五平 167	石原平右衛門 167	石原1	今立熊五郎 166	今立権之丞 166	今立治太夫 165	今立六右衛門 165
伊東六郎兵衛 180	伊東平次左衛門… 180	伊藤平次左衛門… 180	伊東	飯嶋源橘 179	飯嶋三五左衛門… 179	飯嶋四郎右衛門… 178	飯嶋三五左衛門… 178	飯嶋新左衛門 178	飯嶋新左衛門 178	飯嶋	岩村繁介178	岩村善十郎 177	岩村新六 177	岩村他三郎 177	岩村門右衛門 176	岩村佐左衛門 176	岩村門右衛門 176	岩村伝右衛門 176	岩村七兵衛 176	岩村	岩城乾輔 175	岩城恕平 174	岩城豊太 174

伊藤 伊藤 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	伊藤宗八	門 : :	郎	伊藤雄之進 84 184 18		伊藤       2         伊藤       中藤         182       182	伊藤助十郎 一 伊藤助十郎 182 181 181	伊藤1       伊東梅平         180       180
石川忠右衛門 193 193 193	石 伊藤外八郎 192 19			伊藤与一郎 90 190 19		伊藤啓次郎 伊藤三弥太 189 189 189	伊藤 伊藤 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	伊 <b>藤</b> 4 伊藤喜右衛門 188 188
猪子 集	<b>猪子 1</b> 石川次沙良 199 19		市郎左衛門…	<b>石</b>	石川忠左衛門 6 196 196	石川 <sup>2</sup> 石川恭左衛門 196 195	石	石 川平八左衛門 193 193 193
<b>稲生</b> 八郎右衛門… 208 208	生駒彦太郎 207 207 20		生駒2 生駒三郎 206 2	生 駒藤兵衛······· 205 205 205 205 205 205 205 205 205 205	衛 門 :	猪子九十九 203 203 202	<b>猪子</b> 2 猪子小六 202 202	猪子
井戸 井戸市左衛門 213 213	市橋環蔵	市橋条右衛門 市橋条右衛門 2 212 212	:	市橋文太夫 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21	÷	市橋 1	<b>今枝</b> 稲生震也	稲生二太夫 稲生八郎右衛門… 209 209 208

市嶋百助 219	市嶋伝右衛門 219	市嶋伝右衛門 219	市嶋源右衛門 219	市嶋	雪吹亘	雪吹牛兵衛 218	雪吹牛兵衛 217	雪吹牛兵衛 217	雪吹文次郎 217	雪吹半助 217	雪吹牛兵衛 217	雪吹	伊黒仙之助 216	伊黒弥三左衛門… 216	伊黒源五右衛門… 216	伊黒弥三右衛門… 215	伊黒弥五太夫 215	伊黒与太夫 215	伊黒	井戸惣三郎 214	井戸治兵衛 214	井戸次兵衛 214	井戸平左衛門 214
岩屋 2	岩屋政夫 224	岩屋槌之助 224	岩屋源兵衛 224	岩屋1	飯尾左八郎 223	飯尾2	飯尾静223	飯尾惣太夫 222	飯尾惣太夫 222	飯尾惣太夫 222	飯尾1	石井治平············· 222	石井藤太郎 221	石井甚平 221	石井甚平 221	石井治左衛門 221	石井甚平 221	石井	市嶋半平 220	市嶋源五郎 220	市嶋立吉 219	市嶋百助 219	市嶋左太右衛門… 219
岩佐 4	岩佐努力 230	岩佐五郎右衛門… 230	岩佐3	荒木密太郎 230	荒木源兵衛 229	岩佐弥五太夫 229	岩佐弥五太夫 229	岩佐2	岩佐玄珪 228	岩佐玄珪 227	岩佐弁蔵 227	岩佐六左衛門 227	岩佐長左衛門 227	岩佐六郎左衛門… 227	岩佐1	石沢友十郎 226	石沢忠右衛門 226	石沢忠左衛門 226	石沢忠右衛門 226	石沢軍太夫 225	石沢沖右衛門 225	石沢	岩屋滝五郎 225
出浦1	岩路維平 235	岩路彦太夫 235	岩路	今川益太郎 234	今川七左衛門 234	今川源助 234	今川吉兵衛 234	今川左次右衛門… 234	今川七左衛門 234	今川	岩崎但蔵233	岩崎慎一郎 233	岩崎巌 233	岩崎	石田藤五郎 232	石田平次	石 田 2	石田一策232	石田一栄231	石田 1	岩佐平造231	岩佐七九郎 231	岩佐平太夫 230
		伊笠仙衛 241	伊笠	池村啓十郎 240	池村	伊庭藤次郎 240	伊庭	礒松修也 239	礒松	礒谷要助 239	礒谷	市川斎宮 238	市川	家所惣左衛門 238	家所	出浦力雄 238	出浦源八郎 237	出浦市郎兵衛 236	出浦久三郎 236	出浦市郎兵衛 236	出浦2	出浦右近右衛門… 236	出浦宮内左衛門… 236

上坂才右衛門 250	上坂2	上坂上 249	上坂藤太夫 248	上坂与三右衛門… 248	上坂藤太夫 248	上坂与七 248	上坂1	宇都宮五郎助 247	宇都宮茂左衛門… 247	宇都宮又左衛門… 247	宇都宮五郎助 246	宇都宮茂左衛門… 246	宇都宮恒右衛門… 246	宇都宮九郎右衛門 246	宇都宮2	宇都宮務 245	宇都宮弥三郎 244	宇都宮勘解由 244	宇都宮弥三郎 244	宇都宮治部左衛門 244	宇都宮勘解由 244	宇都宮1	う
田田田	为田惟作 55	内田惣左衛門 255	内田七郎右衛門… 255	内田惣左衛門 255	内田七郎右衛門… 255	内田 1	上坂拙士 254	上坂4	上坂治部之助 254	上坂多賀之助 253	上坂治部左衛門… 253	上坂八郎左衛門… 253	上坂利左衛門 253	上坂忠蔵 253	上坂利左衛門 253	上坂利左衛門 253	上坂3	上坂確252	上坂登也 251	上坂五右衛門 251	上坂五右衛門 251	上坂登右衛門 251	上坂甚五右衛門… 250
	甫井勝之助 62	浦井藤次郎 262	浦井五兵衛 262	浦井文左衛門 262	浦井七左衛門 261	浦井七左衛門 261	浦井	字貝伝平 261	宇貝八郎右衛門… 260	宇貝八郎右衛門… 260	宇貝八郎右衛門… 260	宇貝八郎右衛門… 260	宇貝	薄井伴右衛門······ 260	薄井	内田衡 258	内田作兵衛 258	内田小左衛門 258	内田安右衛門 257	内田作野右衛門… 257	内田安右衛門 257	内 田 2	内田恒太郎 257
	瓜生三寅 67	瓜生2	瓜生捨吉 267	瓜生等267	瓜生三左衛門 267	瓜生1	宇佐美喜平治 266	宇佐美	上田耕輔 265	上田元策 265	上田玄策 265	上田万順 264	上田万隆 264	上田万順 264	上田万順 264	上田	内海孝順 264	内海桃仙 263	内海玄高 263	内海桃仙 263	内海松察 263	内海玄三 … 263	内海道安 263
榎並彦作275 275 275 275 275 275 275 275 275 275	夏並孝斎 75	榎並玄沢 275	榎並芸碩 274	榎並芸碩 274	榎並芸碩 274	榎並2	榎並勘兵衛 273	榎並左次右衛門… 273	榎並勘右衛門 273	榎並勘兵衛 272	榎並安次郎 272	榎並左次右衛門… 272	榎並左次右衛門… 272	榎並1	江口正己····································	江口半吾····································	江口九之允 271	江口次郎兵衛 271	江口源左衛門 270	江口九之丞 270	江口次郎兵衛 270	江口	え

円乗虎弥太	円乗虎吉	円乗3	円乗素	円乗仙右衛門	円乗名右衛門	円乗2	円乗乙次郎	円乗仙吉	円乗彦蔵	円乗1	江川常之助	江川馬之丞	江川吉之助	江川宗左衛門	江川吉左衛門	江川	江上茂太夫	江上茂太夫	江上
281	280		279	279	279		279	278	278		277	277	276	276	276		276	276	

 4
 3
 2
 1

 「士族」
 「士族」
 「知札」
 (表紙)

 「士族」
 (表紙)